

2022年2月吉日

会 員 各 位

食品品質保持技術研究会
会 長 林 徹

総会・講演会のご案内

拝啓 向春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、首題の件に関しまして下記次第によりライブ配信にて開催する運びとなりました。つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合せの上ご出席くださいますようお願いいたします。(情報交換会は開催いたしません)

整理の都合上、3月4日(金)迄に弊会ホームページにてお申込み下さるようお願い申し上げます。

なお、総会にご参加いただけない会員の方は委任状にご署名・ご捺印のうえ、ご返送くださいますようお願いいたします。

敬具

記

- 1 日時 2022年3月29日(火) 13時～17時(ライブ配信)
- 2 参加費用

講演会	会 員…無 料
	非会員…2,000 円

* (一社)日本食品包装協会様会員様の講演会参加費は 1,000 円となります。

4 食品品質保持技術研究会総会・講演会 (13:00~17:00)

◎ 会長挨拶 (13:00~13:10)

◎ 総会 (13:10~13:40)

- 議題 1 2021 年度事業報告、収支決算報告承認の件
- 2 2022 年度事業計画、収支予算案承認の件
- 3 会長交代に関する件
- 4 本会の運営に関する件

◎ 講演会 (14:10~17:00)

○食品冷凍の最新技術 (14:10~15:30)

国立大学法人 東京海洋大学 学術研究院 食品生産科学部門
教授 渡辺 学 氏

食品の長期間保存のために、これまで様々な手法が開発され実用されている。その中で冷凍保存は、生の魚や畜肉などを、そのままの状態でも保存できる唯一の方法であり、特別な価値を認められている。しかし冷凍保存の黎明期には、保存はできても品質が著しく劣化することが多く、その解決が必要とされた。それから 100 年余の時間が経過する中で、冷凍保存技術は目覚ましい進歩を遂げ、今では多くの食品に冷凍保存が適用されている。本講演では、冷凍技術発展の歴史を概説し、冷凍保存の現状と将来について述べる。

○休憩 (15:30~15:40)

○プレジジョンヘルス&ニュートリションの実現をめざした AI 栄養研究 (15:40~17:00)

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
顧問 阿部 圭一 氏

人生 100 年時代という命題のもと、歩行速度が余命と相関することなどが報告されたことを機に、健康長寿実現のためには、疾病予防のためのメタボリックシンドロームの健康観だけでなく、フレイル（虚弱）対策の重要性が注目され始めている。また、肥満や疾病、老化などに関する研究が進む腸内細菌をはじめ、デバイスの進化により、睡眠、身体活動や食事内容などの健康ビッグデータの集積が進む中で、個人の状況に応じた最適な指導が可能となる。今回、この個別最適化指導の実現を目指し、我々が進めている AI 栄養研究について紹介する。

以 上

お問合せは

品保研事務局 織本・鈴木まで

T E L 03-3469-7131 F A X 03-3469-7009

委 任 状

私は、
を代理人とし、下記の権限を
委任します。

1、2022年3月29日開催の総会において下記事項を議決する権限

記

- | | |
|-------|-----------------------|
| 第1号議案 | 2021年度事業報告、収支決算報告承認の件 |
| 第2号議案 | 2022年度事業計画案、収支予算案承認の件 |
| 第3号議案 | 会長交代に関する件 |
| 第4号議案 | 本会の運営に関する件 |

年 月 日

会 員 名

及び住所

担 当 者 名

印

以上